

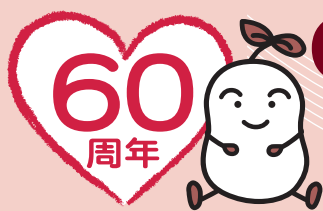
ささえあう 地域づくりが 仕事です

2012.7.10

社会福祉法人
杉並区社会福祉協議会

社協は地域福祉を推進する
社会福祉法人(民間団体)です。

〒167-0051
杉並区荻窪5-15-13
あんさんぶる荻窪5階
☎03(5347)1010(代)
e-mail
fukushi@sugisyakyo.com



ささえあう
未来へつなぐ
地域力

杉並社協のマスコット
キャラクター「うえるくん」

すぎなみ社協

No. 150

広報紙「すぎなみ社協」は奇数月(5・7・9・11・1・3)10日発行です。
ホームページでもご覧になれます。http://www.sugisyakyo.com

杉並社協創立60周年記念式典

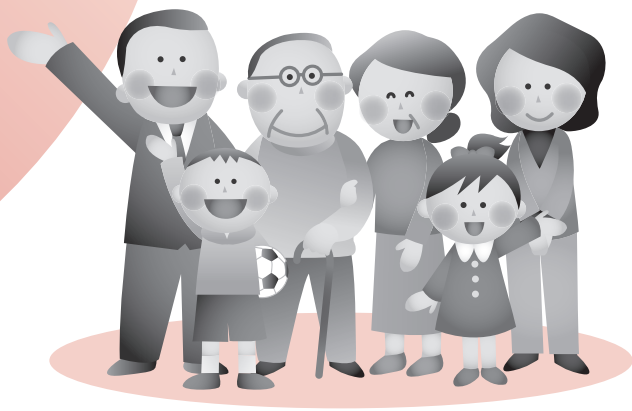
60年間の想いを込めて

7月24日(火)

杉並公会堂
大ホール

開場 12:00

開演 12:30



第1部 12:30 式典

- 都立杉並高等学校吹奏楽部 オープニング演奏
- 社会福祉功労者 表彰式

第2部 14:00 講演会 15:30 落語

講演会 「笑いや感動が可能性を引き出す」



むらかみ かずお
村上 和雄氏

筑波大学名誉教授
公益財団法人国際科学振興財団理事
バイオ研究所所長

落語 演目は当日のお楽しみ～



かつら へいじ
桂 平治 師匠

平成24年9月
十一代目 桂 文治 襲名予定

終演 16:00

※詳しいプロフィールは2面にあります

入場無料

どなたでも入場できます。
ご来場いただいた方にはさ
さやかながら記念品をご用
意しております。

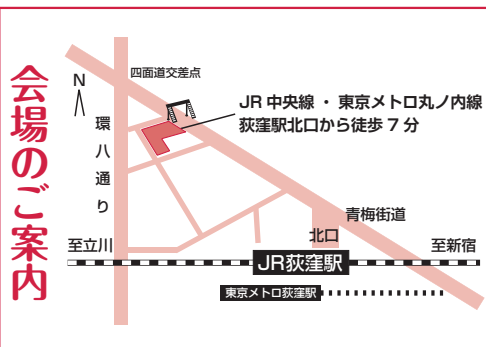
申込不要

直接会場へお越しください。

定員

先着700名

*手話通訳・要約筆記あります。



<お問合せ>

社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会

☎ 03(5347)1010

FAX 03(5347)2061

主な記事

- 2面 ● 創立60周年記念式典
被表彰者一覧
- 3面 ● 平成23年度決算及び
事業報告
● ボランティア募集中です！
● なるほどうえるくん
- 4面 ● ささえあう 未来へつなぐ
地域力

杉並区社会福祉協議会
は、都内で最初の地区社協
として昭和27年4月18日に
誕生しました。
創立から60年、これまで
支えていただいた皆さまへ
の感謝の気持ちと、これま
で以上に地域の絆が深まる
ことを願い「杉並社協創立
60周年記念式典」を開催し
ます。皆さまと一緒に楽し
いひとときをお過ごしいた
だけるプログラムになって
おります。お誘い合わせの
上ぜひご来場ください。

杉並社協 創立60周年にあたって

杉並区社会福祉協議会

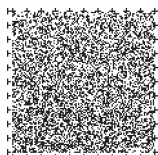
常務理事 伊藤 重夫



皆さま、初
めまして。本
年4月、杉並
区社会福祉協
議会常務理事
に就任いたしました伊藤でござい
ます。どうぞよろしくお願いた
します。
杉並社協は本年4月、創立60年
を迎えました。都内社協第1号と

して戦後復興期の昭和27年に設立
されました。以来、60年にわたり
その時々が多様なニーズに応え、
さまざまな事業を展開し、地域福
祉向上に取り組んでまいりました。
この間、杉並社協を支えてい
ただいた多くの会員の皆さま、な
らびに杉並区を始め多くの関係機
関の皆さま、また、杉並社協の発
展にご尽力いただいた多くの先輩
職員に深く感謝申し上げます。
昨年3月、杉並社協は、基本目
標を「安心をみんなでささえあう
まちに」とする計画期間5年の実

施計画を策定し、目標達成に向け
て重点事業を中心に取り組んでい
ます。今、「地域の絆」というこ
とがクローズアップされています
が、このことはまさに社協が果た
さなければならぬ最も重要な役
割です。私たち杉並社協職員一同、
杉並社協の理念「ささえあう地域
づくりが仕事です」のもと、地域
福祉向上に向け、全力で取り組ん
でまいります。皆さまのご支援ど
うぞよろしくお願いたします。
終わりになりますが、7月24日
(火)12時30分より杉並公会堂に
おいて「杉並社協創立60周年記念
式典」を開催いたします。多くの
区民の皆さまのご来場を心よりお
待ちいたしております。





杉並区社会福祉協議会創立60周年記念式典 被表彰者の皆さん

社会福祉施設・団体等功労表彰

▽【永年勤続・施設長10年以上 1名】

田上 紳 (聖心保育園)

▽【永年勤続・職員15年以上 19名】

山田 祥子 (聖心保育園)

早坂 将人 (前同)

鈴木 さやか (前同)

岡田 直美 (上水保育園)

平岡 留美子 (前同)

堀 信晴 (聖友乳児院)

多田 操 (浴風会 松風園)

佐藤 幸一 (前同)

中澤 雄一 (前同)

小室 直子 (前同)

飯塚 千春 (浴風会 南陽園)

多胡 岳志 (浴風会 本部事務局)

浅井 敏男 (前同)

小村 良子 (前同)

辰巳 俊子 (前同)

馬場 正子 (浴風会 浴風会病院)

西沢 和彦 (前同)

高都 修 (前同)

大我 知広 (前同)

民生委員・児童委員表彰

▽【在職年数8年以上 43名】

石井 ひろみ

鶴田 吉野

加藤 勝枝

鈴木 憲章

友末 隆子

大塚 和江

新井 久子

長洲 比呂子

平川 扶美子

安藤 幸子

今坂 宏子

赤司 慶子

井出 信子

渡邊 君子

佐藤 芳子

山本 スミエ

松本 朋子

三上 典子

小林 睦子

矢郷 豊

古賀 玲子

藤原 陽子

前田 いづみ

若林 廣子

濱田 洋太郎

村本 紀子

社会福祉永年功労表彰

▽この表彰は、障害への理解を促す活動や障害者の住みよい環境づくりの活動、また高齢者の機能訓練や寝たきり予防・仲間づくりを長年にわたり行ってきた皆様の皆さま(3名・1団体)に対するものです。

阿部 節子 (手話サークル杉の会)

鈴木 道夫 (杉並区聴覚障害者協会)

前山 智恵子 (すぎなみ若竹会)

三木 倶楽部 (三木倶楽部)

ボランティア活動功労表彰

▽この表彰は、ボランティアとして社会福祉に対する協力として、高齢者施設でのお話相手や演奏、障害児への水泳指導や余暇活動のお手伝い、子ども成長・発達を支援する活動を長年にわたり行ってきた皆さま(6名)に対するものです。

岩崎 雄治郎 (大宮ふれあいの家)

吉田 健一 (サンデー親子水泳教室)

山川 佳子 (ぎんなん会)

法月 みよ (浴風会 第二南陽園)

塩見 由利子 (聖友乳児院)

燕山 一恵 (前同)

稲垣 一枝
古田 信子
多田 裕昭
嶋田 紀代美
久保田 あつ子
青木 謙一
長谷 昭美
田中 奈那子
鈴木 薫
池長 由紀子
田中 君子
石坂 公子
川合 百合子
岡崎 和子
田熊 鈴子
内藤 礼子
榎本 智恵美

(杉並区民生委員児童委員協議会)

() 内は推薦者 (敬称略)

杉並社協60周年記念式典 出演者のプロフィール

オープニング演奏

都立杉並高等学校吹奏楽部

部員数 120名(創部39年目)

音楽監督・常任指揮者 五十嵐宏子先生



活動のモットー「心から心への音楽」

心の通じ合える仲間と一緒に会場の皆様と空間と時間を共にして、心に語りかけられる素晴らしい演奏を、心にとめて大切にしています。

部活動の実績

「第22回全日本高等学校選抜吹奏楽全国大会」グランプリ獲得、全日本吹奏楽コンクール・全日本アンサンブルコンテスト・日本管楽合奏コンテスト(全国大会) 出場、金賞最優秀賞等受賞多数

講演

村上 和雄 (むらかみ かずお) 氏



1963年 京都大学大学院 博士課程修了

同年 米国 オレゴン医科大学 研究員

1976年 米国 バンダビルト大学 医学部 助教授

1978年 筑波大学 応用生物化学系 教授となり、遺伝子の研究に取り組み。

1983年 高血圧の黒幕である酵素「レニン」の遺伝子の解読に成功、世界的な業績として注目を集める。

2011年 「瑞宝中級章」を受章

著書 「生命(いのち)の暗号」「人生の暗号」「サムシング・グレート」「アホは神の望み」「スイッチ・オンの生き方」他多数

落語

桂 平治 (かつら へいじ) 師匠



1967年生まれ。

1986年 十代目桂文治に入門 桂がた治

1990年 ニツ目昇進 二代 平治となる

1994年 NHK新人演芸大賞

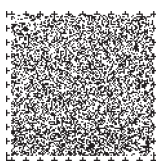
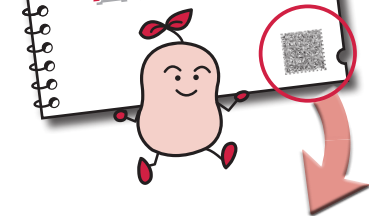
1997年 北とぴあ大賞

1998年 第三回 林家彦六賞

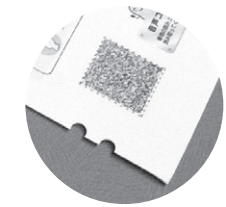
1999年5月 真打昇進

出囃子 いやとび
得意ネタ 酒が出てくる囃「らくだ」「禁酒番屋」や滑稽囃

ご存知ですか? 「音声コード」



杉並社協では、今年度から広報紙「すぎなみ社協」に「音声コード」を付けました。この「音声コード」を付けることで、視覚障害の方が専用の活字読上げ装置を使い、ご自分で「すぎなみ社協」を読む(聞く)ことができます。



紙面端の「音声コード」がある部分には、半円状の切り込みがあります。この切り込みが、「音声コード」があることを示す印で、視覚障害の方は指で認識することができます。

「音声コード」は、「QRコード」などと同様の2次元コードの一つで、約2センチ四方の画像の中に、日本語で1000字程度の情報を記録することが可能です。

「すぎなみ社協」は、4ページの構成で、各ページの文字数が1000文字を超える場合もあります。その場合も記事の内容が伝わるよう工夫しています。

これからも、情報のバリアフリー化を目指し、多くの方に「すぎなみ社協」を読んでもいただけるよう努めます。



専用の活字読上げ装置 (音声コードリーダ機能搭載携帯電話)

平成23年度 杉並社協・決算及び事業報告

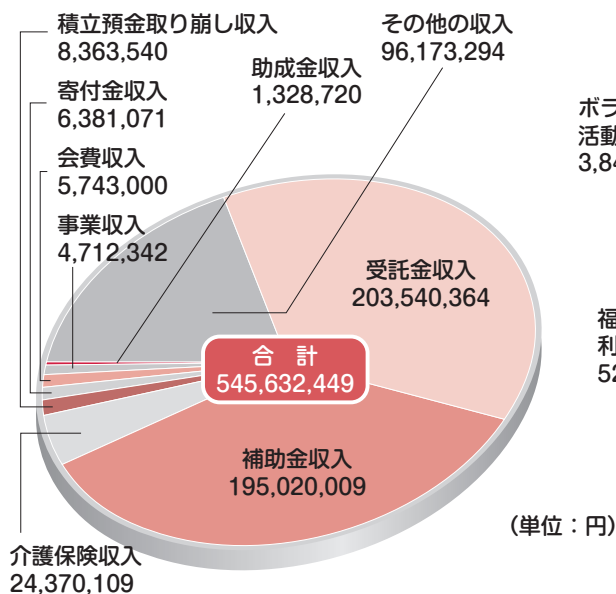
決算報告

杉並区社会福祉協議会の収入は、杉並区等からの補助金、委託金が77%を占めています。

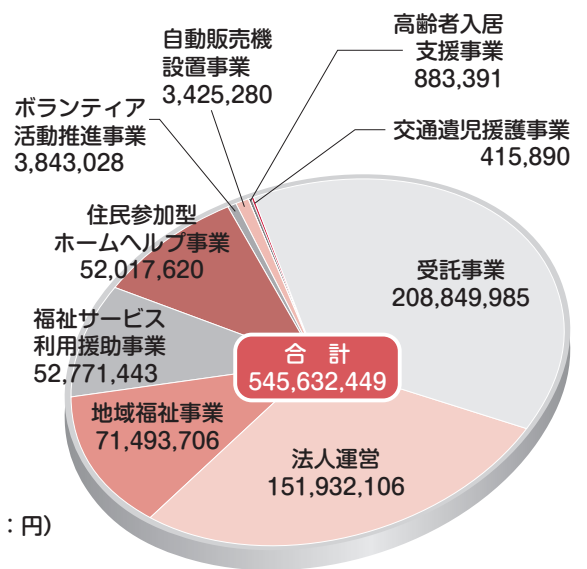
主な支出は、歳末たすけあい募金配分金を財源とする地域福祉活動推進事業、補助金によるボランティア活動推進事業や住民参加型ホームヘルプ事業、福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）、受託金によるファミリーサポートセンター事業、ケア24、認定調査事業、またそれらの事業を支える人件費、事務費です。

皆様からの会費、寄附金は、補助・受託事業の対象になっていないホームページの運営や広報紙の発行、災害ボランティアセンターの運営、東日本大震災への被災地支援活動等に充当させていただいています。

平成23年度 決算報告（収入の部）



平成23年度 決算報告（支出の部）



主な事業報告

杉並社協は「安心をみんなでささえあうまちに」を基本目標に掲げ、平成23年度は次の重点項目を中心に事業を展開いたしました。

1 広報事業

広報紙「すぎなみ社協」は年6回発行のうち、5月号は、これまでの新聞折り込みから各戸ポスティングによる配布（23万部）に変更しました。

2 ボランティア活動推進事業（はじめての地域活動応援事業）

- 東日本大震災による被災地を支援するボランティア活動へ参加する区民等の「ボランティア保険の加入」等の対応が急増しました。
- 区内の福祉施設等受け入れ先のボランティアコーディネート体制の充実と連携強化を図りました。また、“はじめてのボランティア”説明会を土曜日や夜間に開催し、多くの参加者を得ることができました。

3 地域福祉活動推進事業（福祉のまち基盤強化）

- “大災害を乗り越えるために”をテーマに、2回目となる「すぎなみ地域福祉フォーラム2011」を開催しました。また、杉並区総合防災訓練において、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施する等「地域力」の実現をめざしました。
- ボランティア活動者を対象に地域活動等への意識調査を実施しました。

4 高齢者や障害者の権利擁護事業

「地域福祉権利擁護事業」の契約件数は160件を超え、また、独自事業である「あんしん未来支援事業」の契約者総数は19名となりました。

5 地域包括支援センター（ケア24）の体制強化

杉並区からの新規受託事業「安心おたっしゃ訪問事業」は、これまで個人情報保護の視点から関わりの持てなかった高齢者に対し、高齢者福祉サービスについての周知及びケア24とのつながりをつくることができました。

6 共同募金・歳末たすけあい運動

前年度比でわずかな減にとどまり、ほぼ予定の募金額を達成できました。

7 会員組織の強化

「杉並社協 感謝のつどい」を7月と1月に実施し、会員等社協支援者への謝意を表すとともに、社協活動を広く区民に周知し、新規会員の拡大に努めました。

8 東日本大震災における被災地支援

福島県南相馬市への支援を中心に、3か月余の被災地への職員派遣、義援金の募集、チャリティバザーへの協力などを行いました。また、支援活動を希望する区民に情報を提供するとともに、被災地でのボランティア活動等についての心構えなどを積極的に伝えました。

9 訪問育児サポーター事業

杉並区から新規に受託した事業で、1歳未満の子育てを不安に感じている家庭を訪問し、助言等を行うものです。サポーターを50名養成し、10月から事業を開始しました。

ボランティア募集中です！

「一緒に散歩を楽しんでください」

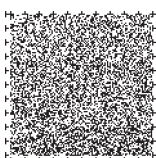
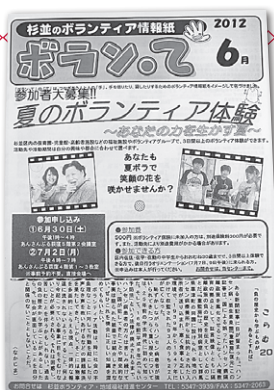
◆Y君は小学三年生の男の子です。人なつこく、明るい性格です。Y君は知的障害があり、目も不自由なため、外に出かける時に声掛けや誘導のお手伝いが必要です。土曜または日曜日の11時から2時間程度、一緒に散歩をしたり昼食をとるボランティアを募集しています。

【場所】久我山周辺

【対象】子どもが好きな大学生以上の方（できれば男性を希望）

皆さまからのお申し込みをお待ちしています。

その他、毎月20～30件の情報を主に毎月10日発行の情報紙『ボラン・て』（5,000部発行）とホームページ（<http://borasen.jp>）で掲載し、募集しています。ぜひ、皆さまのご協力をお願いします。



＜お問合せ＞

杉並ボランティア・地域福祉推進センター

☎ 03(5347)3939

FAX 03(5347)2063

なるほど うえるくん ⑤



日本赤十字について

昨年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援として、全国各地で募金活動が行われたことは皆さんの記憶に残っていると思います。

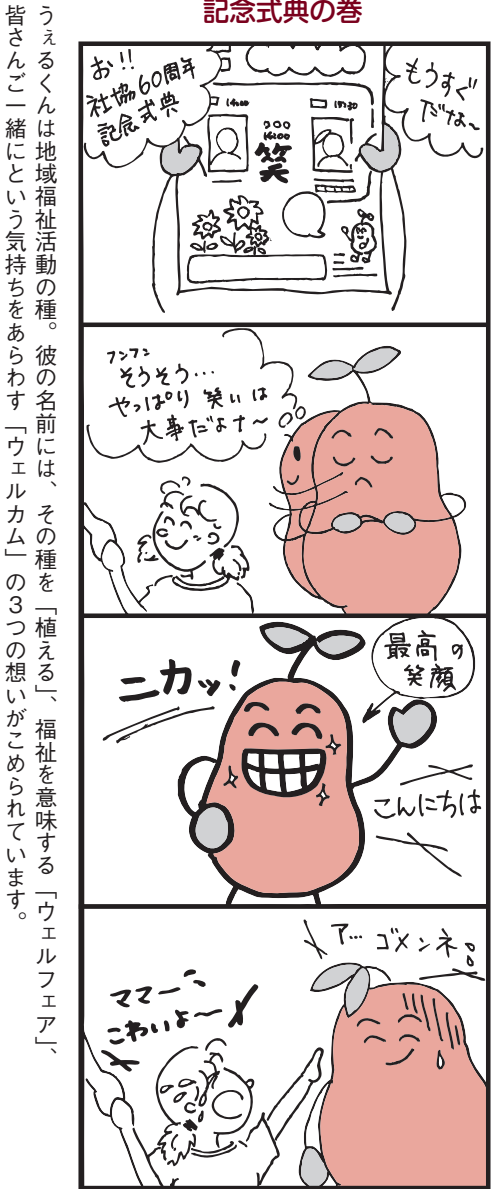
中でも「日本赤十字社」は、その中核の一つです。

募金活動に寄せられた皆さんの善意は、様々な日常に活かされていますが、その仕組みや、お金がどう活かされているかがわかりにくいとも言われています。

赤十字活動は、戦場において傷病者や看護者を差別なく保護する考えから始まりました。その後、災害や戦争で苦しんでいる人々を救うことを目的として定着しました。日本赤十字社の活動資金の集金は、赤十字創設者で初のノーベル平和賞を受賞したアンリーデューナンの誕生月にちなんで毎年5月に実施されています。

集められた活動資金は、救護救援活動をはじめ日赤奉仕団、青少年赤十字の支援、救急法等の講習会、献血活動及び看護師の養成等に活かされています。

うえるくん〈35〉
記念式典の巻



ありがとうございました

●●●●● 寄附者名簿〈敬称略〉 ●●●●●

平成 24 年 2 月 1 日～5 月 31 日まで
(お名前は承諾を得て掲載しています。)

〈団 体〉

社団法人 杉並法人会 社会貢献委員会	90,180 円
特定非営利活動法人アース	3,000 円
東京土建一般労働組合杉並支部	255,350 円
ASA 西浜田山 高山道雄	8,000 円
あゆむ弁当 三鷹・調布・杉並店	6,696 円
杉並カレッジライフ	54,113 円
杉並区食事サービス連絡会	3,011 円
特定非営利活動法人 ブロップK	10,000 円
家庭倫理の会杉並区 会長 太田 守信	5,000 円

〈個 人〉

吉野 純子	10,000 円
-------	----------

〈匿 名〉

7 件	650,000 円
-----	-----------

杉並社協で
体験実習

杉並社協では、高井戸にある障害者雇用支援事業団（ワークサポート杉並）を通じ、今年の 3 月から 2 カ月に一度区内の作業所で働き将来就労自立を目指す障害のある方を、企業体験実習という形で受け入れています。（1 人あたり 5 日程度）

写真は、5 月の実習生の仕事の様子です。

元気よく・手際よく・丁寧に「すぎなみ社協」発送の準備をしていただきました。5 日間という短い実習期間ではありますが、実習後本人も家族も杉並社協で体験できてよかったと感想をいただいています。これからも「すぎなみ社協」が発行されるときに、実習生が活躍します。



編集後記

「すぎなみ社協」は、今号で 150 号を迎えました。月号少しずつ工夫して今の姿になりました。杉並社協も今月 60 周年式典。節目をすぎ区民の皆さまにさらに親しみやすくなればと思います。（T. T）



はじめに、子どもたち全員と今日のプログラムを確認し、始まりの歌、自己紹介と続きます。今日のテーマは「参上！ルパン三世」。子

午後 2 時頃、お迎えを担当している学生と一緒に、子どもたちがやってきました。入部の動機は、「ボランティアに興味があったので」「友達に誘われて」「サークルの名前に惹かれて」とさまざまです。それでは、この活動を始めてみてどうだったのでしょうか。

○『ゆびっこ』の一日

この『ゆびっこ』全体を運営しているのは、リーダーと呼ばれる三人の学生です。

○サークルのリーダー三人に聞く

毎週の活動だけではなく、ピクニックや保護者を交えたキャンプなどの季節行事、OB・OG 会などのイベントもあり、アットホームな雰囲気のサークルです。

毎週土曜日、東京女子大学のグラウンドに、学生が集まり、創部 36 年を迎えるサークル『ゆびっこ』の活動が始まります。『ゆびっこ』は、小学五年生から中学三年生までの障害のある子どもたちと一緒に遊ぶサークルで、現在 40 人ほどの部員がいます。



子どもたちも学生も笑顔がいつばいです。4 時までの 2 時間をみんなで過ごし、子どもたちは、再び担当の学生と帰路につきます。自宅からの送り迎えが活動の一環であることも『ゆびっこ』の大きな特徴です。送迎担当の学生を待ってミーティングをし、部員が交代で次週のプログラムを考えるのだそうです。



遊ぶことで価値観も変わってきました。『この活動を続けて視野が広がったと思います。障害児を育てる親の苦悩ばかりを想像していましたが、保護者の方たちはとても明るく、自分自身の思いや考えが大きく変わったと感じます』『遊びを考えることは、とても難しいです。一人ひとりできることが違い、その中で考えていかななくてはならないからです。遊ぶのは、『みんな一緒』ですが、『みんな同じ』ではないことが分かってきました』『中学

校を卒業したあとも『ゆびっこ』に遊びに来てくれます。本当にうれしいですね』『続けることがとても大切だと感じています。30 年以上続いた活動が、これからも続いてほしいです。今年も 10 人くらいの新入部員が入りました。』『リーダーたちの自信ものぞきます。』『ゆびっこ』という名前には、『5 本の指が集まってひとつの手になる。そんなサークルにしたい』という願いが込められているそうです。『ゆびっこ』から巣立つ学生たちとともに、たくさんの手が生まれて地域をささえあつ、そんな未来を思い描ける取材でした。（取材 朝枝）

杉並区社会福祉協議会 創立 60 周年記念事業
連続講演会 シルバー世代の身近な法律知識

第 2 回 住まいをめぐる生じる法律问题・
悪徳商法との戦い

最期まで自分らしい人生を送るために、人生の後半にどのようなことが起こり、どのような法律知識を身につければよいのか、一緒に考えてみませんか。



講 師 弁護士 白石 光征 氏

(杉並区法律相談員、杉並社協あんしん未来支援事業審査会委員長)

日 時	平成 24 年 7 月 26 日 (木) 午後 2 時 30 分～4 時 30 分
会 場	あんさんぶる荻窪 4 階 第 1・2・3 教室
定 員	60 人 (先着順)
費 用	無料
申込方法	7 月 11 日 (水) から、お電話でお申し込みください。
申込先	あんしんサポート係
電 話	03(5347)1020
共 催	杉並区、杉並区成年後見センター

第 3 回予告：平成 24 年 9 月 25 日 (火)

「老後の日々を安心して過ごすために
～あんしん未来支援事業・成年後見制度～」

私たちは杉並の地域福祉活動を応援しています。



パピーナは、都市生活を営むために生まれた保育園です。

「保育方針」 幼児の美しい心
すこやかなからだ
ゆたかな夢をそだてる
それはパピーナの願いです

家庭的な雰囲気のなかで子ども一人ひとりがのびのびと楽しく過ごせる保育、子どもたちの自立につながる保育を心がけております。

お問い合わせは
パピーナ荻窪園
〒167-0032 杉並区天沼 3-6-27
電話：03-3391-0220

チャイルドグループ
株式会社 三基産業 保育園事業部
東京都杉並区南荻窪 4-39-11

Benesse® ベネッセの
介護付有料老人ホーム
— 一般型特定施設入居者生活介護 —

アリア
高井戸
杉並区高井戸東 3-29-38

アリア
久我山
杉並区宮前 4-30-3

アリア
上井草
杉並区上井草 2-11-13

ご見学・入居相談受付中!

各ホームの詳細はホームページで! ベネッセの介護 検索

お問い合わせ・資料請求は
☎0120-17-1165
(※) ベネッセスタイルケア 受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日含む毎日) [A207104]

このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示すために切り込みを入れています。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を音声で聞くことができます。

